

砂防教室 ～上松小学校～

多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所では5月～7月にかけて管内の小学生を対象に砂防教室を順次実施してきました。

7月5日は上松小学校の児童29名を対象として、土砂災害に対する防災意識を高めていただくために砂防教室を開催しました。始めに滑川第1砂防堰堤で砂防の話と砂防えん堤の見学をしました。次にヘリポートへ移動して、20ミリ、50ミリ、120ミリの雨の違いの体験をしたり、土石流模型実験で砂防堰堤のはたらきについて実験をしました。また、今回は多治見砂防国道事務所 工事安全協議会 上松支部の協力により全児童が建設機械(バックホウ)の試乗体験をしました。



砂防について
学習しました



20ミリ、50ミリ、120ミリの豪雨を
体験しました



土石流模型実験で砂防えん堤の
はたらきを学習しました



*デ・レーケとは
オランダの水工
技師で河川改修
や土砂災害の
復旧工事につ
いて指導
された方です

デ・レーケの碑をみました



建設機械(バックホウ)試乗体験



上松小学校4年生の皆さん

滑川第1砂防えん堤の天端にて